



静脈注射 I・II

～基礎から学ぶ静脈注射～



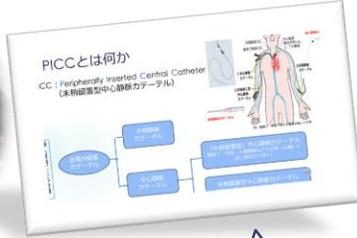
新卒者67名が、「静脈注射 I・II」を受講しました。昨年度同様、静脈注射に関連する法的解釈や薬物の薬理作用、与薬上の注意点に関する講義に加え、今年度は集中ケア認定看護師副看護師長による「PICCカテーテルの管理」について動画視聴を行いました。その後各部署の教育担当者と共に演習を行いました。



業務担当副看護師長
「看護師等による静脈注射実施の法的解釈の経緯と看護業務の法的位置づけ」



看護職キャリア支援教育担当副看護師長
「静脈注射の基礎知識と手技」



集中ケア認定看護師副看護師長
「PICCカテーテルの管理」



薬剤師
「注射剤に関する基礎知識」

講義から学んだこと・感じたこと

自分が看護師として実施することができる範囲・レベルを把握し、**患者さんや自分たちの安全を守る**ことが必要であるということ学んだ。

血管外漏出や組織損傷が起きた場合、患者さんにとって身体的苦痛だけではなく、今後の不安など精神的苦痛も加わってしまうと考えた。

PICCは病棟で使用している患者さんが多いので、必要な観察や適切な管理方法を覚えていきたい。

アナフィラキシーショックに最初に気がつくことができるのは看護師だと思う。観察を怠らないようにするのが重要だと感じた。

翼状針～留置から抜針まで～

解剖生理と点滴試行中の患者の安楽を考え、安全な穿刺部位を選定し、実際にお互いの腕で穿刺しました。翼状針の固定から抜針まで一連の流れをゆっくりと丁寧に実施していました。



側管注～ワンショット～

腕モデルを使用しオメガプラゾールのワンショットを実施しました。前後の生食フラッシュや陽圧ロックの正しい手技を確認しました。刺入部の観察や患者への声掛け、7R確認も意識しながら実施できていました。

